



錦江湾あつたまる〜と(仮称)

「日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)」 モデルルート 申請書

様式1: 応募主体の組織概要

様式2: 応募主体に含まれる組織・団体等のこれまでの活動実績

様式3: 活動基本計画

補定資料: 先行的に検討したシーニックバイウェイのパンフレット



錦江湾あつたまる〜と(仮称)パートナーシップ発足準備会

<活動基本計画>

① モデルルート の名称	錦江湾あつたまる～と
② 取組テーマ	○ あつたかさ（風景、気候、温泉、人）を活かした地域、道づくり
③ コンセプト	<p>○ 風景・温泉・人などの地域の魅力（あつたかさ）を再確認し、それを道空間でうまく活用することによって地域の活性化を目指す。</p> <p>○ 各々のブロック（地域）を「あつたかさ」というテーマで結び、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流を促進するためのネットワークを形成する。</p> <p>○ 錦江湾エリアを中心に、エリア内の活動の充実とエリア外への拡大・連携を図る。</p>
④ 活動方針	<p>○ 桜島、開聞岳に代表される火山が造りだす豊富な温泉、南国鹿児島島の気候、もてなしの心に満ちた人柄が、「あつたかさ」という共通のテーマで各地域（ブロック）のポテンシャルアップと錦江湾全体のネットワークを形成します。</p> <div data-bbox="619 853 1262 1350" data-label="Diagram"> </div> <p>そのためモデルルート全体として</p> <p>○ 地域の持つ魅力（人、文化、歴史、食）にふれあえる場としての道の再発見と先進地での事例収集等による学習・研究を行う。</p> <p>○ 地域に眠る魅力を掘り起こし伝えるため、これらに詳しい地域住民や鹿児島県の知識度試験としてある「鹿児島県検定」の資格を持つ方を交えた学習・研究を行う。</p> <p>○ 来訪者に「地域を伝える場」としての道路空間を創出するために様々な方々と連携し、イベントの機会を増やすなど活動の頻度を高める。</p> <p>○ 景観を阻害する負の遺産については、自治会、NPOなど地域が主体となって管理者との調整の場を設けるなど実行力を高める。 を考える。</p>

④活動方針

○ 各ブロック毎に次のようなブロックの特色を持った活動を行います。

《桜島ブロック》

桜島の自然・歴史・文化・風景の魅力を再発見し、それを活用するために必要な道路整備の提言・実践を行う。また、桜島の魅力を伝えるためのテキスト・ガイドブックを作成し、「まちの案内人」の育成を行う。さらに「まちの案内人」を活用するための拠点として「まちの駅」を整備し、おもてなしの道空間づくりを行う。



<鹿児島島のシンボル 桜島>

《鹿児島ブロック》

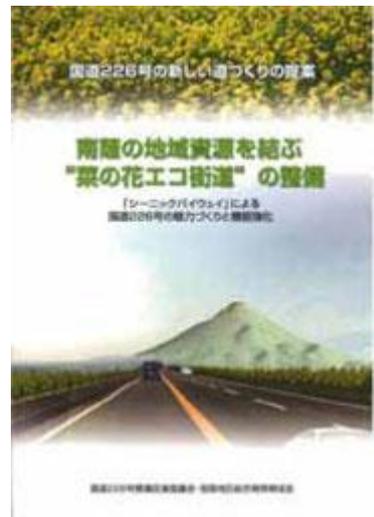
南九州一の繁華街である天文館地区で、来街者の皆様にこれまで以上にゆとりや楽しさを感じてもらうため、道路空間を活用してのオープンカフェ、ワゴンセール、各種イベント及び花と緑いっぱい運動等を行い、歩いて楽しいハイアメニティな道路空間を提供する事により、道の新たな価値を創造する。



<道路空間でのオープンカフェ>

《指宿ブロック》

日本一のおもてなしの心に満ちた住民の参画を基本とした、花と緑の自然あふれるゆとりと潤いに満ちた道づくり、多彩な地域資源を活かした世界に誇れる観光地としての道づくり、肥沃な台地と豊かな海洋資源を活かした食糧供給基地をつなぐ道づくりをすすめる、花と緑の国際観光地の実現を目指す。



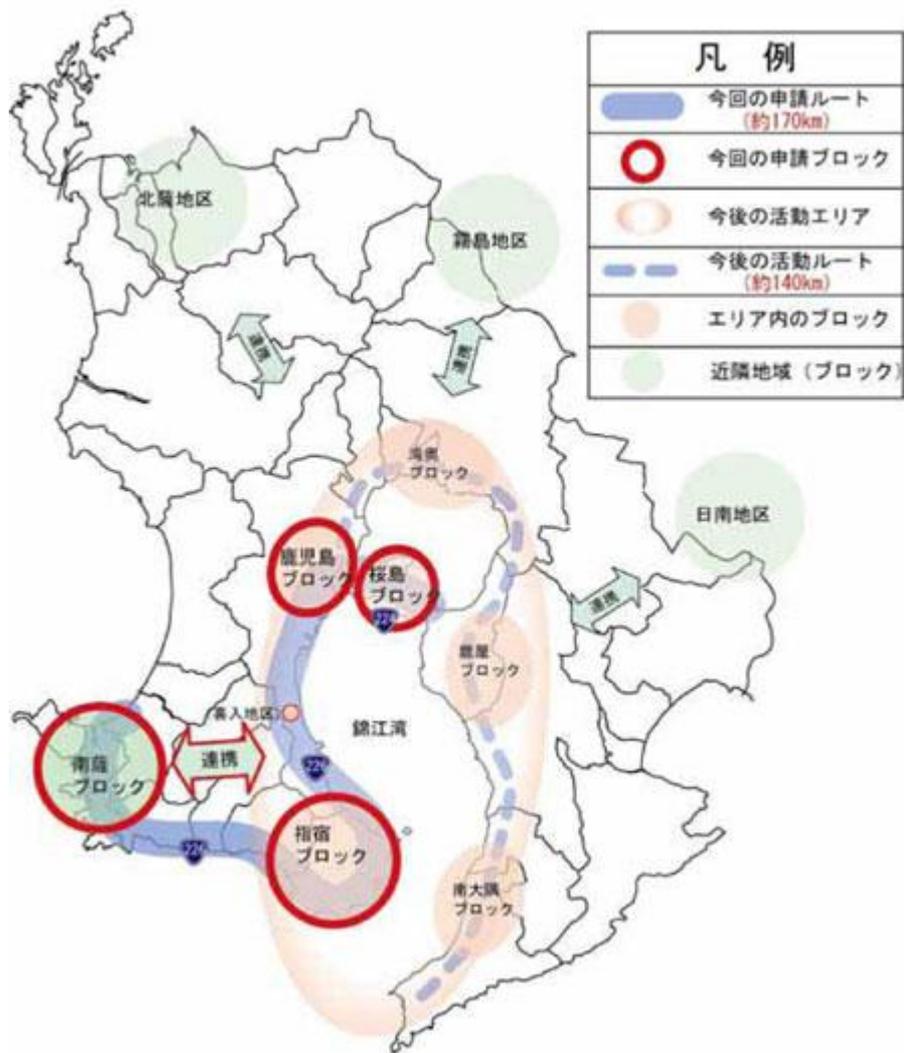
<指宿、南薩ブロックで
独自に検討した
シーニックバイウェイ>

《南薩ブロック》

東シナ海ならではの美しいリアス式海岸や歴史遺産、食の魅力などを活かした取り組みや訪れる人の学びや癒し、遊びなど多様な楽しみ方を可能にする観光圏づくりを進め、温かいおもてなしの心で、誰もが何度でも、ゆっくりと訪れたいくなるような満足度の高い道空間づくり、地域づくりの実現を目指す。

⑤活動エリア

錦江湾あったまる〜と（仮称）



- 今回の申請ルートは、発足準備会へ参加した4つのブロックを結ぶルートで申請。
- 今後、錦江湾沿線全域を活動エリアとして、沿線で活動する道空間づくりの関連団体に呼びかけ 活動の輪を広げる。
- 錦江湾沿線以外でも可能な範囲で近隣の地域との連携を図る。

参考1 モデルルート応募状況

(1) 応募一覧

